

福井恵子氏のセミナー「布の力・フラッグアート」



講師：福井恵子氏



セミナー風景

NO-REN展の会期中である7月10日(土)13:30~15:00に、近江商人屋敷の五個荘金堂まちなみ保存交流館でフラッグアーティストの福井恵子氏のセミナー「布の力・フラッグアート」を行いました。

35度の猛暑の中、会場の都合により定員を30名とさせていただいておりましたが定員を越える方々にお越しいただき、まさに熱気ムンムンのセミナーとなりました。

スライドの画面では、風に吹かれたフラッグアートが、人々を元気づける象徴としての形として街に掲げられている画像や、人間讃歌・自然讃歌の旗がアートとして屋外にインсталレーションされている画像を観る事ができました。

まさに「布の持つ力」を具現化し、フラッグアートを通して、障害者とのコミュニケーションを目的とした活動や、自然環境保全のための活動、阪神大震災後の援助活動などに積極的に取り組まれている福井先生に、大いに刺激を受けることのできたセミナーでした。

西日本理事 大高 亨

山口道夫氏の個展



11月初旬、大阪・本町で山口道夫先生の個展が開催されました。今回の展示会では、整経した状態の経糸にスクリーンプリントを置くワークプリントの技法を用いた作品が多く展示され、大胆に経糸や緯糸を飛ばした大型の作品から、繊細なグラデーションや図柄をコンピュータージャガードで表現した作品まで、幅広い作品が展示されました。入り口を入ってすぐの場所に展示された「重」と「丸」という作品は、モダンなグラフィックと経糸のみによって形成された素材感が簾のような効果を生み、和の雰囲気も感じさせ、ギャラリーの空間に溶け込む新しい作品となっていました。今回展示されていたどの作品も、一点物の手織りのような価値観のある作品に見えますが、全て量産可能なコンピュータによって織られる作品であるということに大変驚きました。量産できるテキスタイル製作を目指すプロダクトテキスタイルデザイナーとして製作をされている先生の、新しい作品と旧作を一同に見ることができる、見応えのある作品展となりました。

レポート 石井知沙